

令和7年度 柳川市教育施策

生涯学習社会の構築をめざして



福岡県柳川市教育委員会

目 次

柳川市教育施策の策定趣旨と基本方針	…	1
令和7年度柳川市教育施策体系表	…	2
1 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる子どもを育てる教育の推進	…	3
2 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実	…	13
3 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進	…	19
4 特色ある市民文化の創造	…	26
5 健全な身体をつくるスポーツ活動の推進	…	31
6 人権尊重精神を育成する教育・啓発の推進	…	34

資料編

基本目標 生涯学習社会の構築をめざして 〔柳川市教育施策の策定趣旨と基本方針〕

現在、我が国では、様々な分野で、かつてない変革の時を迎えています。教育についても、その重要性を踏まえ、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成27年4月1日から施行され、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会との連携強化、地方に対する国の関与の見直し等制度の抜本的な改革が進められています。

しかし、制度改革は基本的に全国一律で行われることであり、それぞれの地域に根ざした教育を展開していくためには、今一度、自らの足下をしっかりと見つめ直す必要があります。

そこで、柳川市教育委員会（以下、「市教育委員会」と記す。）は、教育基本法の本質にのっとり、人間尊重の精神を基調とし、学校・家庭・地域社会との緊密な連携のもとに、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子どもの育成を図ります。

さらに、生涯学習社会の実現に努め、普遍的でしかも個性豊かな文化の創造、郷土に誇りと愛着の持てる地域社会の形成に資することをめざし、施策の総合的な推進を図ります。

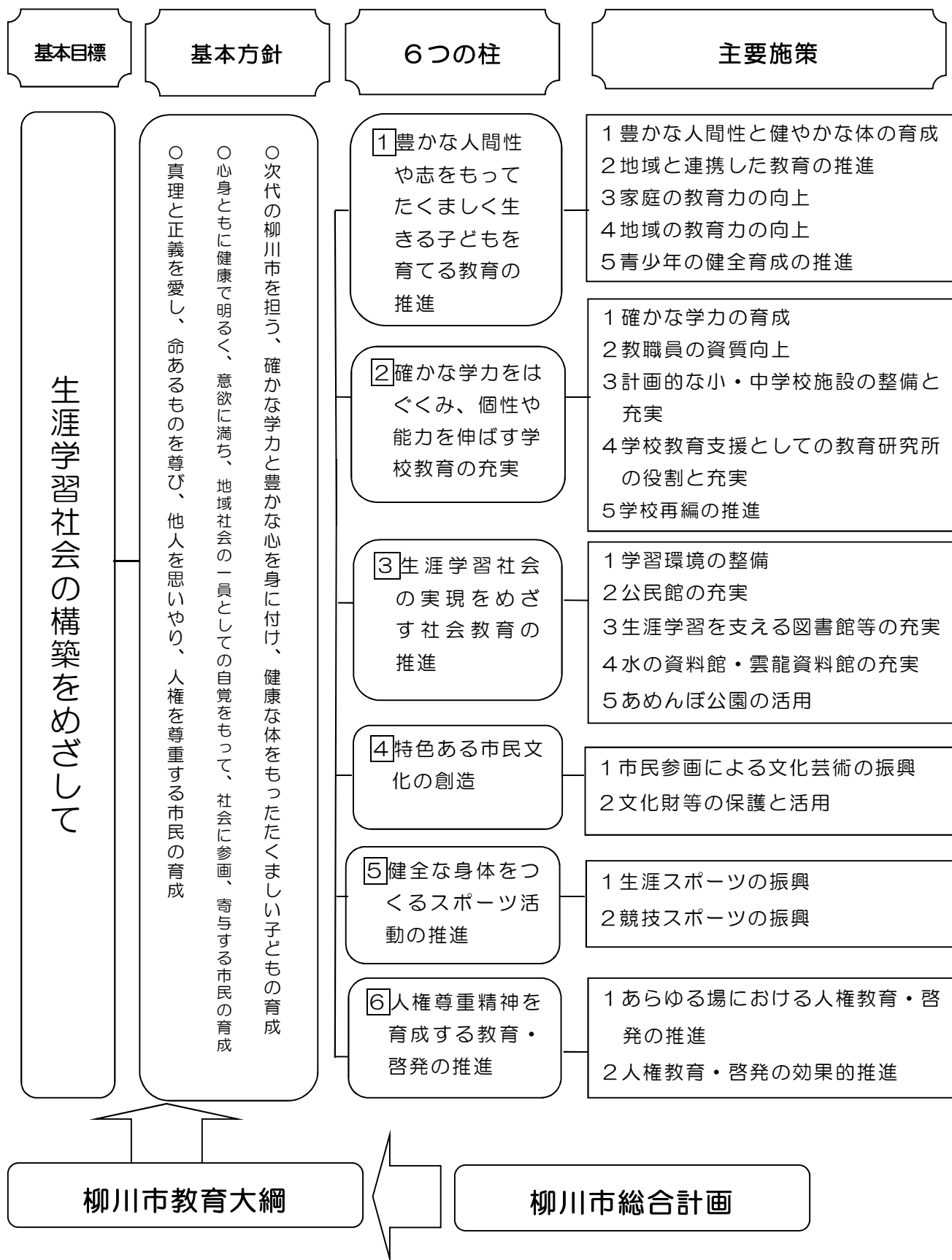
策定に当たっては、柳川市総合計画及び教育大綱を基礎として、本市教育の方向をさらに明確にすることにより、学校をはじめとする教育現場の活動が一層充実することをねらいとして、柳川市教育施策を定めました。

具体的には、本市教育の基本方針を掲げ、その実現に向けて、「6つの柱」に主たる取組内容を整理し、それぞれの柱ごとに主要施策を策定し、「目的（基本的な考え方と目指す方向、成果指標と目標値）」及び「主な取組」という構成で記述しています。市教育委員会としては、生涯学習の構築をめざし、関係諸機関・諸団体と緊密な連携を図るとともに、広く市民の理解と協力を得ながら、本市教育施策の推進に努めます。

基 本 方 針

- 次代の柳川市を担う、確かな学力と豊かな心を身に付け、健康な体をもったたくましい子どもの育成
- 心身ともに健康で明るく、意欲に満ち、社会及び地域の一員としての自覚をもって、社会に参画、寄与する市民の育成
- 真理と正義を愛し、命あるものを尊び、他人を思いやり、人権を尊重する市民の育成

令和7年度柳川市教育施策体系表



1 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる子どもを育てる教育の推進

1 豊かな人間性と健やかな体の育成

〈目的〉

I 特別活動、道徳教育の充実

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、主体者意識の向上や道徳性、郷土愛といった資質・能力を育成するための活動を充実します。

〈成果指標と目標値〉

成 果 指 標	現 状 値 (令和6年度)	目 標 値 (令和7年度)
学習状況調査の「将来の夢や目標を持っている」で、全国との比較	小学校:83.5%(全国平均 82.4%) 中学校:57.1%(全国平均 66.3%)	小・中学校ともに、 全国平均以上に
学習状況調査の「自分にはよいところがある」で、全国との比較	小学校:83.2%(全国平均 84.1%) 中学校:77.0%(全国平均 83.3%)	小・中学校ともに、 全国平均以上に
学習状況調査の「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う」で、全国との比較	小学校:86.8%(全国平均 83.5%) 中学校:67.4%(全国平均 76.1%)	小・中学校ともに、 全国平均以上に

成 果 指 標		現 状 値 (令和6年度)	目 標 値 (令和7年度)
低学年	○じぶんのすんでいるところで、すきなばしょやすきなぎょうじがありますか。	92.4%	90%以上
中学年	○自分が住んでいる市の行事や伝統などについて調べることがありますか。	78.3%	80%以上
高学年	○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	79.6%	80%以上

中学校	○地域行事やボランティア活動等に参加したり、または、参加しようと思ったりしたことはありますか。	51.0%	60%以上
-----	---	-------	-------

《主な取組》

(1) 人間関係を構築する力、主体的な態度を身につける教育活動の推進

- 「中学校区スタンダード」の共通実践等を通じた中学校区単位での取組の推進
- 児童会活動の充実（小学校）
 - ・全児童の積極的な参加、参画を促す魅力的な課題の設定
 - ・異学年が発言しやすいようなリーダーによる場づくりの設定
- 各学校で生徒会を中心としたリーダー研の実施（中学校）
 - ・自主的、自治活動の推進と学校の重点目標と連動した生徒会目標の設定
- 行事等を通して自己の成長を振り返るキャリアパスポートの活用
- 小学校を中心とした「協働して目標を実現する宿泊体験学習」の実施
- 小・中学校における「自然や文化などに感心をもつとともに、互いを思いやり、共に協力し合う人間関係を形成する修学旅行」の実施

(2) ふるさと柳川を愛する教育活動の充実

- 郷土学習の教育課程への位置づけと、ひと・もの・ことの教材化
 - ・「やながわ人物伝」、郷土資料（心に響く素読集「やながわ」）、環境教育副読本「やながわ」活用
- 小・中学校で連携した地域のひと・もの・こととつながる活動の充実
 - ・地域行事等への積極的な参加、参画と地域人材の積極的活用
 - ・地域や学校の特色を生かした創意工夫のある活動の設定
- 小・中学校における文化活動の推進
 - ・全小学校参加による「白秋音楽まつり」の実施
 - ・中文連主催による中学校音楽発表会への支援
- 郷土の偉人北原白秋や長谷健を顕彰する作品応募等の奨励

(3) 児童生徒が参画する地域学校協働活動の推進

- 地域と連携した児童生徒が主体的に活動する場の設定

〈目 的〉

Ⅱ 生徒指導の充実

組織的な指導体制を確立し、いじめや不登校の防止、解消の取組を図るとともに積極的な生徒指導を充実します。

〈成果指標と目標値〉

成 果 指 標	現 状 値 (令和6年度)	目 標 値 (令和7年度)
不登校児童生徒の復帰率	小・中学校：10.6%	15.0%

《主な取組》

(1) 教科の指導と生徒指導の一体化

- 「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」、「安全・安心な風土の醸成」を意識した実践（学習指導と生徒指導の専門性を合わせもつという日本型学校教育の強みを活かした授業づくり）

(2) 発達支持的生徒指導の充実

- 発達支持的生徒指導としての集団づくり・仲間づくりの取組

(3) いじめの撲滅、不登校解消の取組の推進

- いじめ防止、対応についての児童生徒、保護者に向けた柳川市教育委員会作成資料を活用した全校での説明会実施
- 校内生徒指導委員会での確実な情報共有及び組織的な取組の実施
 - ・学年部の枠組みを超えた生徒指導主事が中心となった組織的な取組み
- 「柳川市いじめ防止基本方針」に基づく「教育相談強調月間(5月)」、定期的な「いじめアンケート」の実施
- 教師、スクールカウンセラー、スクールアドバイザー、スクールソーシャルワーカー等の個別指導及び教育相談の実施による不登校解消に向けた取組の支援
- 柳川市児童生徒支援教室「わかば」の積極的な活用及び学校との連携推進
- マンツーマン対応の推進、関係機関との連携を図るためのケース会議の開催
- 臨時的な学校訪問による生徒指導上の課題の把握と課題解決に向けた指導・支援
- 緊急対応時における「柳川市いじめ問題対策連絡協議会」の開催
- 青少年育成市民会議、市PTA連合会との連携した啓発活動の推進
- 学校教育支援センター主催事業（いじめ問題や危機管理等）の開催

(4) 生徒指導を充実させる中学校区における幼保・小・中学校連携教育の推進

- 幼稚園、保育園、子ども園と小学校との連絡協議会の開催
- 中学校区ごとの研修会、授業交流、行事等の協働化の推進

(5) 学校教育支援センターによる学校支援

- 教育相談等に対する学校と教育支援センターの連携による組織的な対応
- 相談電話 電話番号 0944-74-5955
- 相談電話 月曜日～金曜日 8:30～16:00（祝日・年末年始を除く）

〈目的〉

Ⅲ 体育、健康に関する教育の充実

児童生徒の体力向上をめざし、体力の実態把握や生涯学習課等と連携した体力向上の取組を推進します。また、学校における系統的な健康教育、食育、安全教育の確立をめざし、児童生徒の健康づくり、安全に関する指導を充実します。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
新体力テストで全国との比較	小学校5年男子：54.2Pt (全国平均 52.5Pt) 小学校5年女子：56.4Pt (全国平均 53.9Pt) 中学校2年男子：45.5Pt (全国平均 41.9Pt) 中学校2年女子：48.4Pt (全国平均 47.4Pt)	小学校：全国平均＋2pt 中学校：全国平均＋4pt

《主な取組》

(1) 体力向上の取組の推進

- 各校体力向上プラン（各学校1取組）の計画的な指導及び指導方法の工夫
 - ・新体力テストの実施（対象：全学年 5月～7月に実施）及び課題の分析と指導法の改善、実施
- 県スポーツコンテスト等への積極的な参加
- 中学校部活動における専門的指導向上のための外部指導者の拡充
 - ・中学校に部活動指導員13人配置
- 中体連主催各種大会への支援
- 小学校陸上記録会の開催
- 生涯学習課及び諸団体との連携による体力向上の取組
 - ・柳川市相撲教室、柳川おもてなし健康マラソン大会、柳川市駅伝大会等への積極的

参加奨励

- 家庭や地域と連携した体力、健康づくりの推進
 - ・地域主催の体力、健康づくりの取組への参加

(2) 健康教育、学校安全教育の充実

- 新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染対策の徹底、推進
 - ・手洗い、換気の推奨
- 「食に関する指導の手引」の活用による食育指導の推進
- 食物アレルギー疾患に対応する研修会の実施
- 学校、家庭、警察、関係機関と連携した、薬物乱用防止、エイズ予防、交通事故防止、不審者防止等の推進
 - 《交通安全教室、救命士育成学習、着衣水泳教室（小学校）、暴力団追放講演会（中学校）の実施》
 - ・小・中学校におけるヘルメット着用の推進
- 児童生徒一人一人の防災対応能力の向上及び防災体制の充実
 - ・避難訓練の実施
 - ・危機管理マニュアルの見直しと実施の充実

〈目 的〉

IV 人権・同和教育の充実

児童生徒が人権に関する知識や態度、実践力を身に付けるように校内推進体制を確立し、全ての教育活動の中で人権・同和教育を推進します。

《主な取組》

「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、「部落差別の解消の推進に関する法律」「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」、「人権教育の指導方法等の在り方について（第1次～3次とりまとめ）」「福岡県人権教育・啓発基本指針」「柳川市人権教育・啓発基本計画」「柳川市あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例」「人権教育推進プラン」等に基づき、同和問題を初めとするあらゆる人権問題に対して、学校や地域の実態に応じて人権教育・啓発に積極的に取り組みます。

- 学校の人権・同和教育全体計画に沿った全教科、全領域における積極的な人権・同和教育の推進
 - ・同和教育副読本「かがやき」とDVD「あおぞら」「あおぞら2」の活用
 - ・人権・同和教育資料活用のための研修会の実施（6年学級担任対象）
 - ・人権・同和教育推進のための中学校区での研修会の実施

- ・各学校での実践レポートの交流及び取組の共有
 - ・各学校の人権週間における取組の充実
- 南筑後教育事務所と連携した教職員研修の充実

〈目 的〉

V 特別支援教育の充実

障害のある児童生徒等に対して一人ひとりの教育的ニーズを把握し、特別な配慮のもとに手厚くきめ細やかな教育を推進します。

《主な取組》

(1) 学校教育推進の柱の一つとしての特別支援教育の位置づけ

- 「教育課程編成の基本方針」において、特別支援教育推進についての考え方の明記
- 「通常学級の教育課程の編成」と同様、「特別支援学級の教育課程の編成」の明記

(2) 児童生徒のニーズに応じた特別支援教育指導計画の作成

- 特別支援教育推進計画の作成と学校全体としての推進体制の構築
- 支援を必要とするすべての児童生徒一人ひとりに対応する個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と個に応じた指導・支援

(3) 特別支援教育の校内体制の充実

- 校内における特別支援教育推進委員会の定期的な開催及び運営
- 医療機関、福祉機関、幼稚園・保育園・こども園などの関係機関やスクールカウンセラーなど関係職種との連携の強化
- 幼児教育から小学校教育へ、小学校から中学校へ、中学校から進路先へと切れ目のない支援を行うための情報収集及びその共有化
- 特別支援学級のために編成した教育課程に基づき作成した個別の指導計画による「交流及び共同学習」の展開

(4) 特別支援教育を推進するための教育環境の整備

- 特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学校への特別支援教育支援員の配置
- 特別支援教育支援員研修会の実施による教員と特別支援教育支援員との関係整理や業務内容の明確化

(5) 柳川市小中学校特別支援教育充実事業の実施

- 支援員研修会及び支援員配置学級担任研修会の実施
- 校内研修推進、教育相談対応などによる支援を通じた指導主事の学校派遣
- 特別支援学級における自立活動及び教科領域を合わせた指導の指導内容・方法に係る相談・支援

(6) 通級指導教室の充実

- 通級指導教室「よつば」（藤吉小学校内）の指導及び教育相談の充実
- 中学校における巡回型通級指導教室「あおば」（拠点校：三橋中学校）の推進

〈目的〉

VI 学校図書館教育の充実

子どもの読書習慣の確立を目指し、地域や家庭と連携して、読書活動の推進を図るとともに、児童生徒の知的活動を増進し、豊かな人間形成や情操を育む活動を推進します。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
学習状況調査の「週末や放課後に家で勉強や読書をしている」で、全国との比較	小学校：45.8% (全国平均 49.3%) 中学校：37.0% (全国平均 46.1%)	小・中学校ともに、全国平均以上に

《主な取組》

- 朝の読書活動の推進と、家庭との連携（「家読」の推進）による読書習慣の育成
- 読書ボランティアの方々による読み聞かせ活動の推進
- 学習・情報センター、読書センターとしての機能の充実
- 各学校図書館における「ふるさと柳川」コーナーの設置・活用

2 地域と連携した教育の推進

〈目的〉

市民の願いと信頼に応えるために、学校、保護者、地域及び大学等と連携して、市民全体で児童生徒を育てる特色ある教育を推進します。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
学習状況調査の「平日に家庭学習をしない児童生徒」で、全国との比較	小学校：5.7% (全国平均 5.3%) 中学校：6.2% (全国平均 6.6%)	小・中学校ともに、「家庭学習なし」を0に
学習状況調査の「地域活動に参加している」で、全国との比較	小学校：8.6% (全国平均 4.4%) 中学校：2.8% (全国平均 3.9%)	小・中学校ともに、全国平均より+5ポイントに

《主な取組》

(1) 家庭・地域と連携した生活習慣等の育成

- 「中学校区スタンダード」を活用した基本的な生活習慣と学習習慣の育成

(2) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進

- 市内全小中学校における学校運営協議会の計画的な実施（年3回以上の実施）
- 学校運営協議会における熟議の場の設定
- 地域と連携したふるさと学習の推進
- 校長からの協議テーマの発案及び協働して取り組む内容の焦点化
- 学校訪問での活動状況の報告

(3) 地域・関係機関と連携した教育活動の推進

- 学校の特色を活かした中学校職場体験学習の実施
- 関係機関等との協働による乳幼児とのふれあい体験活動

(4) 学校運営の評価と情報公開の推進

- 学校運営協議会委員による学校運営に関する基本的な方針の承認、学校運営の評価実施

3 家庭の教育力の向上

〈目的〉

家庭の教育力が向上するように、関係機関や団体との連携を強化し、子育てに関する支援体制の充実を図ります。また、子育てに関する学習機会の拡充や情報提供の充実を図ります。

《主な取組》

(1) 親の学習機会の拡充

子育て中の親が、子育てに対する理解を深めることができるよう、PTAや子育てサークル等と連携して、家庭教育に関する学習機会の提供や親子で参加する学習機会の提供に努めます。

- 乳幼児期の子育て講演会、家庭教育講演会の開催
- 関係部局主催の家庭教育に関する研修会への参加奨励
- 学習機会に接することがない親への情報発信

(2) 子育てに関する情報提供

子育てに関する知識の向上と意識の高揚を図るために、子育てに関する情報提供と啓発活動の充実に努めます。

- 「早寝、早起き、朝ごはん」運動の啓発
- 「家庭の日」「オアシス運動」の推進
- 市報やホームページ等で親のニーズに合った子育てに関する情報提供の充実

(3) 子育てに関する支援の充実

安心して子育てができるよう、子育て関係機関や団体との連携を強化し、地域で子育てを支援する体制づくりに努めます。

- 子育て支援施設と子育てサークル等の支援
- 学校、PTA（家庭教育委員会）との連携強化
- 子育て関係機関や団体とのネットワークの促進

4 地域の教育力の向上

〈目的〉

地域の教育力が向上するように、学校・家庭・地域の三者の連携による子育て体制の整備や地域の人材の育成・確保、並びに世代間交流や地域の特性を生かした活動の場づくりに努めます。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和5年度)	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
通学合宿の実施件数	3件	2件	5件

〈成果指標の取得方法：生涯学習課統計資料〉

《主な取組》

(1) 地域で子どもを育む体制づくり

地域の中で子どもを育むことができるように、学校、家庭、地域の連携を図るとともに、青少年健全育成関係団体の活動充実のための支援に努めます。

- 青少年育成市民会議、PTA、子ども会との連携強化

(2) 地域の人材の育成

地域のボランティアの育成のために、豊かな知識と経験を持つ人材を発掘するとともに、その人材活用の促進に努めます。

- 社会教育関係者を対象とした研修会の開催

(3) 世代間交流や地域の特性を生かした活動の場づくり

子どもたちが、地域の大人や異年齢の友達と触れ合うことができるよう、生活体験や自然体験などの地域の特性を生かした活動の場づくりに努めます。

- 通学合宿の推進
- 地域と連携した大人と子どものふれあい交流の推進
- 地域の伝統事業の推進
- コミュニティ・スクール制度と連携した地域学校協働活動事業の実施

5 青少年の健全育成の推進

〈目的〉

地域社会で青少年の健全育成ができる体制を整備し、青少年を取り巻く社会環境の浄化、青少年問題に関する情報の共有や啓発活動及び青少年健全育成を目的とした体験学習などの実施に努めます。

〈成果指標と目標値〉

成 果 指 標	現 状 値 (令和5年度)	目 標 値 (令和7年度)
柳川警察署管内における青少年の補導者数	509人	490人

〈成果指標の取得方法：柳川警察署統計資料〉

《主な取組》

(1) 社会環境の浄化

青少年が健全に育つ環境を整備するために、学校や青少年関係団体と連携・協力しながら、安全安心パトロールや子ども見守り隊を推進するなど社会環境の浄化に努めます。

- 登下校時の見守り運動の推進
- 非行防止のためのパトロールの推進
- 福岡県青少年健全育成条例に基づく立入調査の実施
- スマートフォン等でのトラブルをなくす取り組みの実施

(2) 青少年健全育成に関する情報提供と啓発活動

青少年の現状について、市民が共通認識を持てるよう青少年問題に関する様々な情報を提供するとともに、青少年自身の問題意識を喚起するための啓発活動を推進します。

- 「青少年育成だより」発行
- 青少年教育に関する講演会の実施
- 青少年健全育成に携わる指導者研修会の推進

(3) 体験学習機会の提供

子どもたちの生きる力や豊かな人間性を育成するよう、学校・家庭・地域と連携して様々な体験学習を提供します。

- 柳川の自然を利用した「柳川『有明海』なんでん体験隊」、「二ツ川ウォッチング」等体験学習の実施
- 通学合宿の推進

2 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

1 確かな学力の育成

〈目的〉

I 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成

学習内容の定着状況を確実に把握し、研究指定校による市の教育課題解決や先進的な取組とともに学習指導要領の趣旨に則った質の高い授業を展開します。

〈成果指標と目標値〉

成 果 指 標	現 状 値 (令和6年度)	目 標 値 (令和7年度)
標準学力検査等で、平均正答率の全国又は福岡県平均との比較	小学校：全国平均+6.2pt 中学校：福岡県平均-7.7pt	<標準学力検査> ○小学校：全国平均+5pt <定着度診断シート11月> ○中学校：福岡県平均以上
全国学力・学習状況調査で、平均正答率の全国平均との比較	小学校：全国平均+5.3pt 中学校：全国平均-6.0pt	<令和6年度> ○小学校：全国+6pt ○中学校：全国平均以上

《主な取組》

(1) 適正な教育課程の編成・実施・評価と授業の充実

- 授業の質的向上のための管理職による定期的な教室訪問の実施
 - ・授業参観後、指導・助言による授業デザイン改善
- 学びを調整する力が発揮できる授業実践（小中学校）
- 適切な形成的、総括的評価の位置づけ

(2) 学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善

- 全国学力・学習状況調査の実施：4月18日（木）
 - ※小学校6年生、中学校3年生対象
- 福岡県学力実態調査の実施：6月18日（火）
 - ※小学校5年生、中学校1、2年生対象
- 標準学力調査等の実施：小学校12月実施、中学校年間8回実施
 - ※小・中学校全学年対象
 - ※小3～中2までCBT化の実施
- 諸調査のクロス分析の推奨、分析に基づいた授業改善の指導・助言

(3) 授業における学習指導方法改善の推進

○研究指定校による質の高い教育活動の推進及び発信

【研究指定校】

・令和5、6、7年度「学力向上」 城内小学校

※ 城内小学校は、福岡県重点課題研究指定・委嘱事業を兼ねる。

・令和5、6、7年度「主体的に学ぶ生徒の育成」 柳城中学校

【自主研究実践校】

・令和6、7年度「教科担任制の推進」 やまと小学校

(4) 家庭学習・補充学習の徹底

○確実な学力定着のための補充学習及び個別学習の展開

○教育課程内外における補充学習の組織的な取組

○発達段階に応じた家庭学習ノートの開発及び効果的なタブレットの活用

○小学校・中学校学力アップ支援事業非常勤講師の配置

○習熟度の程度に応じた指導

・少人数、学習形態を工夫した指導の実施

〈目 的〉

Ⅱ 社会の変化に対応した教育の充実

国際化に対応する外国語活動及び外国語教育、情報活用能力を高める情報教育、柳川市の特色ある環境からその大切さを学ぶ環境教育、全ての人々の幸せな暮らしの実現を考える福祉教育、科学への興味・関心を高める理数教育、今日的な課題の解決を図る教育の充実を図ります。

〈成果指標と目標値〉

成 果 指 標		現 状 値 (令和6年度)	目 標 値 (令和7年度)
低学年	○タブレットのカメラきのおをつかってしゃしんをとったり、データをファイルにほぞんしたりすることができますか。	92.3%	95%以上
中学年	○集めた資料を仲間分けして見出しを付けたり、たくさんの資料から必要な部分だけを選んだりして、自分の考えに取り入れることができますか。	81.0%	85以上

高学年	○資料を組み合わせたり、発表構成の順序を考えたりしてプレゼンテーションを行うことができますか。	79.4%	85%以上
	○友達の感想をもとに、発表したプレゼンテーションの構成や資料を見直すことができますか。	79.2%	
中学校	○情報の正しさや適切さを判断しながら様々な情報から取捨選択し、発表することができますか。	59.7%	80%以上
	○友達の意見をもとに、発表の構成を見直し、改善することができますか。	79.0%	

《主な取組》

(1) 情報教育（NextGIGA）の推進

- タブレット、電子黒板を効果的に活用した授業実践
 - ・個別最適/協働の学びにおけるC B Tでのスタディログ活用及び表現活動
 - ・C B T導入に対応するタイピング能力の向上
 - ・総合的な学習の時間における他地域との交流、学びの発信

(2) 理数教育の振興

- 福岡教育大学と連携した理数教育振興事業（チャレンジ・サイエンス）を小学校で実施（5校）
- 子どもの探究心を更に高める「自由研究の進め方」講座（アドバンスト・チャレンジサイエンス）の実施（希望校）

(3) 主権者教育や租税教育など今日的な課題解決のための教育の推進

- 税を考える学習（租税教室）を、小学校6年生及び中学校3年生で実施

(4) 小・中学校における外国語教育の充実

- 全小学校で低学年における外国語活動の実施（10時間）
- 全学校での外国語活動の支援のため、A L Tを小学校に5人、中学校に3人配置

2 教職員の資質向上

〈目的〉

I 学校経営への指導・支援の充実

学校経営の基軸及び基本構想に関する管理職の研修や、多様な学校訪問指導による活力ある学校経営・運営の実現を図ります。

《主な取組》

(1) 学校訪問指導の実施

- 計画的な学校訪問による学校の課題の把握と協議の焦点化等による課題解決に向けた指導・支援
 - ・全小中学校で学校訪問を実施。学校訪問終了後、学校訪問改善計画書に基づいた支援の継続
 - ・教育指導室指導主事、教育研究所研究指導主事派遣による日常的な学校支援

(2) 管理職研修会の実施

- 柳川市小・中学校管理職を対象とした学校運営に関する研修会（夏季）の実施

〈目的〉

II 教職員への指導・支援の充実

教職員の資質・指導力向上を図る研修会の充実や教育論文応募の奨励、他教育機関への研修を積極的に奨励します。

《主な取組》

(1) 教員の資質向上及び指導力向上を図る研修会

- 職務に応じた研修会の充実
 - ・教務主任担当者研修、校内研修担当者研修の実施
- 若年教員1年目の資質・指導力向上を図るための訪問指導の実施
 - ・若年教員1年目の授業研修への参加及び指導・助言
- 若年教員研修以降における授業力向上研修の実施
- 学校の要請に応じた校内研修等への訪問指導の実施
- 学校教育支援センター主催の児童生徒・保護者対応講座の実施

(2) 柳川市教育論文・ふくおか教育論文の応募奨励及び表彰

- 柳川市教育論文・ふくおか教育論文の応募者の拡充と質の向上
- 教育実践テーマの工夫（学習指導改善、学校経営、学級経営、学力向上等）

(3) 研究機関等への派遣による実践的指導力の育成

- 長期派遣研修応募の奨励及び長期派遣研修報告会の実施
- 県教育センター等のミドルリーダー養成講座、キャリアアップ講座、教師塾等専門研修への応募奨励

(4) 自主研修の奨励

- 柳川サークル等を活用した職務やキャリアステージに応じた専門性や指導力の向上

3 計画的な小・中学校施設の整備と充実

〈目的〉

小・中学校施設の整備と充実

児童・生徒が安全に活動できる施設の整備に努めるとともに、洋式トイレの設置率向上や小中学校普通教室等への校内LAN整備、その他特別教室等の老朽化した機器を計画的に更新します。

《主な取組》

(1) 児童・生徒の安全を図る施設・設備の整備

- 安全点検の実施時期、内容、担当等についての確認と確実な実施

(2) 計画的な小・中学校施設の整備と充実

- 洋式トイレ設置率の向上
- 超高速インターネット及び無線LAN化並びにタブレット型パソコン、電子黒板の導入

4 学校教育支援としての教育研究所の役割と充実

〈目的〉

学校教育支援としての役割と学校教育の充実

柳川市立小・中学校の学校支援の役割を果たし、柳川市の教育課題の解決や柳川市教職員の資質の向上や指導力向上に努めます。

《主な取組》

(1) 柳川市の教育課題解決に向けた研修会の充実

- 授業力向上研修会（4年目～8年目教員、講師）の実施
- OJT支援研修会の実施（中堅、5年目以下）
- 若手教員へ積極的な授業支援

(2) 柳川市の教育課題解決に向けたプロジェクト研究の推進

- NextGIGA推進プロジェクトの実施（小中合同）

(3) 学力向上や授業改善に関する情報の発信・配布

- 授業改善や児童生徒理解に役立つ情報や資料の発信と配布

(4) その他の事業

- 福岡県研究所連盟協議会へ発表者、助言者等の派遣
- 教育研究所の事業計画や推進に関する協議を行う運営委員会を組織、協議

〈目 的〉

柳川市立小中学校再編計画による学校再編

全国的に少子化が進む中であって、本市においても、少子化等による児童生徒数の減少に伴い、小中学校の学級数が減少しています。今後もこの傾向が続くことが予測され、小規模校化はさらに進行し、教育活動に支障を来たすことが懸念されます。

このため、令和2年2月20日に柳川市立学校適正規模・適正配置化検討委員会を設置し、令和3年3月23日に柳川市立小・中学校の今後の在り方について、「学校教育の充実と児童生徒のより良い教育環境を整備する適正な学校規模・学校配置を実現するためには、学校再編を基本として進めていくことが望ましい。」との答申を受けました。

この検討委員会からの答申を基に、教育委員会において学校再編計画案を策定し、説明会及びパブリック・コメントにより聴取した保護者や地域の意見等を踏まえ、令和4年9月に「柳川市立小中学校再編計画」を決定しました。

今後、この学校再編計画に基づき、令和13年度までに、現行の小中学校25校を小学校5校、中学校2校、義務教育学校2校へ学校再編を推進し、本市の子ども達のために、保護者や地域、学校とともに「行きたい、行かせたい」と言われる地域とともにある学校づくりに取り組みます。令和7年4月に、大和町地区の6小学校を再編した柳川市立やまと小学校が開校しました。

《主な取組》

(1) 蒲池地区義務教育学校再編協議会の設置

蒲池地区に設置する小中一貫の義務教育学校について、令和8年4月の開校を目指して準備を行う「蒲池地区義務教育学校再編協議会」を設置しました。協議会の委員は、再編の対象となる小中学校それぞれの保護者、地域関係者、教職員の代表14名です。今後、再編協議会において、新しい学校名、校章、校歌などについて協議を進めます。

(2) 昭代地区小中学校再編協議会の設置

昭代地区に設置する小中一貫の義務教育学校について、令和9年4月の開校を目指して準備を行う「昭代地区義務教育学校再編協議会（仮称）」の設置を進めます。

3 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進

1 学習環境の整備

〈目的〉

市民の学ぶ意欲を満たす学習環境の整備、情報機器の技能習得の支援、学んだ成果が地域で生かされるような体制づくりを行います。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和5年度)	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
社会教育団体登録数	345	359	370
自主成人学級申請団体(延べ団体数)	179	181	184

〈成果指標の取得方法：生涯学習課統計資料〉

《主な取組》

(1) 学習機会の拡充

市民がいつでも、どこでも学習できる機会を提供するため、公民館の講座や開催会場などの充実を図ります。また、講座の開設情報や市の出前講座の活用についての情報提供を行います。併せて、情報化社会に対応した学習機会の提供も行います。

- 公民館講座や所管部局による出前講座の開催
- 市報やホームページ等を利用した情報の提供
- 市民のニーズに応じた講座の開催

(2) 自主活動の奨励

市民の自発的な学習や研究を支援するために、学ぶ場の提供や講師情報の提供を図っていきます。また、各種団体やサークルへの支援も行うことで、活発な生涯学習活動を推進します。

- 自主成人学級への支援
- 社会教育等関係団体登録の推進
- 生涯学習まちづくり人材バンクの活用

(3) コミュニティセンターの適切な管理運営

柳川市コミュニティセンター基本計画に基づき整備されたコミュニティセンターが、市民により親しまれる施設となるようソフト面の充実を図っていきます。

2 公民館の充実

〈目的〉

市民の各階層に応じた様々な学習機会の提供と世代間交流推進の場として、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを即し、公民館活動・機能の充実に努めます。

〈成果指標と目標値〉

成 果 指 標	現 状 値 (令和6年度)	目 標 値 (令和7年度)
大和及び三橋生涯学習センター コミュニティ施設の利用者数	194,218人	210,000人

＜成果指標の取得方法：生涯学習課統計資料＞

※利用者数は、令和元年（234,573人）から比較すると大幅に減少しているが、令和3年度（90,553人）令和4年度（157,402人）令和5年度（178,870人）と徐々に回復基調にある。

《主な取組》

(1) 公民館活動・機能の充実

市民のライフステージに応じた様々な学習機会と地域や生活課題に即した学習機会の提供を図るとともに、生涯学習センターやコミュニティセンター等を活用するなど青少年と成人・高齢者などの世代間交流の機会を増やし、公民館活動の充実に努めます。

また、公民館職員向けにスキルアップ研修等を行い、コミュニティセンターを拠点とした講座等の充実に努めます。

中央公民館

- 研修会・講座等の開催
- 各種スポーツ大会等の開催
- 地域公民館事業の支援
- 自主サークル活動等の育成・支援
- 館長主事会や公民館職員への研修会等の開催
- 地区公民館建設補助

柳川・大和・三橋の各地域公民館

- スポーツ・レクリエーション大会、文化祭等の開催
- 各世代向け講座等の開催
- コミュニティセンターを拠点とした講座等の開催

3 生涯学習を支える図書館等の充実

〈目的〉

図書館法に則り生涯学習を支える拠点として、図書・記録その他必要な資料を収集・整理・保有し、市民の利用に供することによりその教養、調査研究、レクリエーション等に資するよう努めます。

令和7年度においては、利用者の動向や要望をふまえ、図書館本館をはじめ、雲龍図書館、三橋図書館、両開分館、昭代分館、蒲池分館、水の郷分室をそれぞれの規模や地域特性等を生かしつつ、暮らしを豊かにする図書館運営を目指します。また、6館1室の一体的運営と利用の促進に努め、魅力ある図書館を目指します。さらに、市民のライフステージに応じた専門書籍や基礎的な資料・情報の提供等ができるように資料収集に努めます。

また、令和7年度は、「第3次柳川市子ども読書活動推進計画」の策定年度に当たり、本計画に基づき、地域や保育所、学校等と連携し子どもの読書活動を推進します。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和6年度見込)	目標値 (令和7年度)
年間の資料貸出冊数	330,977冊	335,000冊
年間の入館者数	185,345人	190,000人

〈成果指標の取得方法：図書館統計資料〉

《主な取組》

(1) 市民、利用者の視点に立った図書館運営

来館する人が気持ちよく利用でき、親しまれる図書館となるよう、利用者及び図書館協議会等の意見を反映しながら運営の改善に努めます。

また、各館における図書館資料の分類配列を適切にするとともに、図書館システムを活用し、各館の蔵書管理と正確かつ迅速な検索が可能となるよう工夫します。

○利用者の意見を反映した図書館運営の改善

○図書館資料の適切な分類配列及び図書館システムによる適切な蔵書管理

○誰もが利用しやすい図書館運営の推進

(2) 特色のある図書館としての運営

郷土資料や地方行政資料、水に関する資料、図書・記録・視聴覚資料その他必要な資料を収集し、市民の学習・文化・情報要求に応えるよう努めます。特に本市出身の詩聖とうたわれる北原白秋をはじめ、郷土出身者の著作や本市の暮らしに大いに関わる掘割

や水に関する資料の収集に努めます。

○特色ある郷土資料等の計画的収集

○掘割を守る活動との連携による、水に関する資料の充実

(3) 他の図書館等と連携した図書館運営

○県立図書館はじめ他の公立図書館等との連携

利用者の多様な要望に応えるため、県立図書館をはじめ、他の公立図書館等と緊密に連携し、図書資料の相互貸借を行います。また、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの利用促進を図ります。

○小・中学校の学校図書館等との連携

小・中学校の利用促進を図るため、図書館利用説明会や特別貸出、団体貸出の実施など学校図書館との連携を深め、家庭における子どもの読書習慣の環境づくりに努めます。また読書ボランティア等とも連携を図り、子どもの読書活動の推進に努めます。

○市内各学校児童生徒を対象とした読書感想画や川柳等の作品募集

市内各学校との連携により児童生徒を対象とした読書感想画や川柳等の作品の募集を通じ、身近に感じられる図書館になるよう努め、更に児童生徒の利用促進に努めます。

○幼稚園・保育園等との連携

団体貸出等を通じ、幼稚園・保育園等と連携した読書支援を行い、子どもの読書習慣の環境づくりに努めます。

○定住自立圏域内における広域連携による図書館サービスの提供

大牟田市・みやま市の住民に対し、各館で、貸出を含む図書館サービスを提供します。また、大牟田市、みやま市、熊本県長洲町の3市1町による電子図書館を共同運営し、住民の読書スタイルの多様化に対応できるようサービスの充実を図ります。

(4) 各館を生かした図書館運営

各館を生かした図書館運営により、利用者の増加に努めます。小学校低学年から図書館に親しみ、図書館利用のマナーを身に付けるため、最寄りの館で図書館利用説明会を開催します。

また、図書館利用の促進と地域の文化や生活の活性化の一助となるよう各館の機能と特徴に応じて、おはなし会や講演会、映画鑑賞会、スタンプラリー等の各種行事の開催や、館内に雛飾り等の季節行事に応じた飾り付けや特集コーナーを設置します。

○図書館利用説明会の開催

○おはなし会や講演会、映画鑑賞会、スタンプラリー等各種行事の開催

○雛飾り等の季節行事の飾り付けや特集コーナーの設置

(5) ブックスタート事業の充実

絵本を介して、赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、楽しくあたたかい時間を持つきっかけをつくるブックスタート事業を実施します。また、その後のフォローとして「おはなし会」へのお誘いや、「赤ちゃんと楽しむ絵本リスト」「3歳児と楽しむ絵本リスト」の配布など家庭での読書活動の推進を図ります。

○ブックスタート事業の実施

○「おはなし会」へのお誘い、「赤ちゃんと楽しむ絵本リスト」「3歳児と楽しむ絵本リスト」配布による、家庭での読書活動の推進

(6) あかちゃんタイムの充実

あかちゃんタイムを充実し、小さな子ども連れの利用者が気兼ねなく図書館を利用できる環境づくりに努めます。また、あかちゃんを対象としたおはなし会を定期的で開催します。

○あかちゃんタイムの実施による、小さな子どもを連れた利用者のための環境づくり

○読書ボランティアによるあかちゃんおはなし会の開催

(7) 保存期限経過資料の有効活用

保存期限の経過した雑誌等の図書館資料を、市民に有効利用してもらうため雑誌リサイクルを行います。

○雑誌リサイクルデーの開催

(8) 職員の資質向上

図書館職員が図書館について十分な知識を持ち、利用相談に応じることができるよう館内研修や県立図書館等が開催する専門研修会への参加等を通じ、職員の資質向上に努めます。

○図書館職員の館内研修の実施及び専門研修会への参加

(9) ボランティアとの連携

「柳川おはなしネットワーク」を構成する読書ボランティアグループや個人ボランティアと連携し、小・中学校へ読書ボランティアを派遣します。

また、豊かな知識と経験を持つ人材をボランティアとして発掘するとともに、ボランティアのスキルをより高める、研修の機会等を設定・紹介しながら、ボランティアの育成・支援を図ります。

○ボランティアとの連携による、各種事業の実施

○研修機会等の設定・紹介による、ボランティアの育成・支援

〈目 的〉

資料館の充実

郷土を学ぶのに最適な二つの資料館では、毎年市内外の小学生施設見学を積極的に受け入れているが、今後もこれを有効活用し、図書館の関係各種資料等との併用により、情報提供の場・学習の場として利用促進に努めます。

《主な取組》

(1) 水の資料館の充実

あめんぼセンター「水の資料館」は、先人たちの知恵と努力によって造られた掘割と人々のかかわりを通して、柳川の風土を学び、今後のまちづくりを考えるための資料館です。掘割の成り立ちから水辺の生物まで、柳川の自然や生活文化をパネルにして写真やイラストを使って紹介しています。他に「堀干し」の際に使用されていた道具や水車の模型、漁具など掘割とかかわりの深い道具類の展示やNPO法人「S P E R A 森里海・時代を拓く」による柳川の掘割に棲む魚類の展示を行っています。また、掘割の再生に貢献された広松伝コーナーも水路課の協力により展示しており、この資料館の利用促進を図るため、資料の管理・充実に努めます。

- 掘割を守る活動との連携による、水の資料館の資料充実
- 市内外の小学生施設見学の積極的な受け入れ
- 市民や観光客が掘割について知ることができる場所としての有効利用
- 社会科見学で来館する児童へ資料館のパンフレットを配布

(2) 雲龍資料館の充実

雲龍資料館は、本市出身で横綱土俵入り「雲龍型」に名を残す第10代横綱雲龍久吉を顕彰し、併せて郷土出身の元大関琴奨菊（秀ノ山親方）のコーナーを設け、かつ大相撲の関係資料展示や思い出の名勝負などの懐かしい映像を楽しめるコーナーと、大和地域の干拓の歴史や郷土の紹介、有明海を学べるコーナーを持つ資料館で市外から来館される利用者にも楽しんでもらえるよう、資料の充実に努めます。

- 雲龍資料館の充実及び元大関琴奨菊（秀ノ山親方）の顕彰・展示の整備
- 市内外の小学生施設見学の積極的な受け入れ
- 小学生の干拓の歴史学習を支援するための資料提供

〈目 的〉

ふれあいと憩いの広場提供による図書館利用の促進

《主な取組》

(1) あめんぼ公園の活用

あめんぼ公園は、水と緑に囲まれた水辺の散歩道と水紋橋を介して一体化している図書館と掘割をはさんだ対岸の小公園です。また、噴水、池、小川などさまざまな水の形をみせ、池を囲む緑の樹木や四季折々の草花の彩りが人々の心をなごませてくれる市民憩いの広場です。木陰での読書を楽しんだり、水辺の草花を観察したりするなど、親子のふれあいの場、憩いの場及び交流の場としての活用に努めます。

○あめんぼ公園を親子のふれあいの場、憩いの場及び交流の場として活用

4 特色ある市民文化の創造

1 市民参画による文化芸術の振興

〈目的〉

市民の芸術鑑賞機会及び文化芸術活動に対する支援の充実を図り、暮らしの中で文化芸術に親しむ土壌づくりに努め、魅力と個性に溢れ地域に根ざした文化芸術活動の振興を目指します。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
文化芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	44.9%	47%

〈成果指標の取得方法：「柳川市政アンケート」〉

《主な取組》

(1) 文化芸術推進基本計画の推進

本市の文化芸術の振興を図るため、具体的の方針を定めた柳川市文化芸術推進基本計画（令和4年度策定）の推進を図ります。

(2) 文化芸術鑑賞機会の提供

文化芸術に親しむ土壌作りのため、市内の子どもに対し、文化芸術を鑑賞する機会を提供します。

○幼稚園・保育園児演劇等鑑賞会の開催

市内幼稚園・保育園年長児を対象に、柳川市民文化会館を会場とした演劇等鑑賞会を実施します。

○「子どもの健やかな成長を願う実行委員会」による芸術鑑賞事業の実施

市内小学生を対象とした演劇等鑑賞会を実施します。

(3) 文化活動の支援

地域文化の継承と文化活動の促進のため、活動者の育成や文化協会等の文化団体の支援等を通じて、市民の文化活動を支援します。

○文化活動者の発掘・育成

文化芸術に興味を持つ者を対象とした各種講座の開催等により、文化を生かした地

域づくりに関わる人材の発掘・育成を進めます。

○柳川市文化協会への助成

柳川市文化協会へ助成を行うなど、協会に加盟する市内の文化団体の活動を支援します。

○文化サークル等の活動支援

文化サークル等が実施する事業等への活動、特に将来の文化活動を担う、子どもを中心とした文化サークルへの補助金の交付などを通じて活動を支援します。

○全国大会出場者への支援

全国大会へ出場する者への補助金の交付などを通じて活動を支援します。

○市民等による文化芸術事業などへの活動支援

市民が行う各種文化芸術事業をはじめとした多様な文化活動を支援します。

(4) 文化事業の実施

市民文化の創造のため、郷土の偉人の顕彰とあわせて芸術発表と交流の場を提供します。

○柳川市総合美術展の開催

美術各分野の創作活動を推進し、芸術鑑賞の機会を提供するため、日本画・洋画・書・写真の4部門による総合美術展を開催します。

○北原白秋にちなんだ各種事業の開催

郷土出身の詩人北原白秋の遺徳を偲ぶ「白秋祭式典」やその業績を顕彰する「白秋献詩」「北原白秋顕彰短歌大会」を開催します。また、令和7年1月25日の白秋生誕140年を記念し、一年を通し関係団体等と連携しながら、白秋の作品を中心とした柳川ならではのイベントや展示、ワークショップなど様々な催しを開催します。

○誰もが文化芸術に触れる機会の充実

市民が文化芸術に触れるきっかけとなる事業のほか、自ら文化芸術に触れる機会が少ない人に対しても、教育機関や各種施設等に出向くアウトリーチや芸術ワークショップなど、誰もが文化芸術に参加できる事業に取り組みます。

○文化芸術を担う活動者の育成

「文化の薫り高いまち」柳川の文化芸術活動を担う活動者を育成する事業に取り組みます。

○文化芸術を生かした地域づくり

柳川市文化交流移住体験施設「旧綿貫家住宅」等を活用し、国外及び市外で活躍する芸術家に創作活動の場を提供するとともに、市民向けに行う芸術体験などのワークショップを通じて、地域の文化芸術水準の向上と活性化に寄与する「アーティスト・イン・レジデンス（AIR）」事業をはじめとした、都市部から柳川への人材還流を目指した事業に取り組みます。

(5) 文化活動拠点の充実

市民の文化活動及び交流の拠点である市民文化会館の充実した管理運営に努めます。

○市民参画の推進

市民とともに事業を企画立案、実践する場やイベント時のロビー周りを中心に活動する接遇スタッフ、アナウンサーなど市民サポーターの養成に努め、会館運営に対する市民の参画を進めます。

○自主事業の充実

各種自主事業の実施を通じて、文化芸術の鑑賞及び体験の機会を市民に提供することで、市内の文化芸術の更なる振興に寄与していきます。

2 文化財等の保護と活用

〈目 的〉

本市は近世柳川城下町や国民的詩人北原白秋の詩情を育んだ水郷の風景、矢部川の水利に恵まれた広大な平野や掘割、街道沿いに遺された史跡やまち並み、有明海に開かれた港町に受け継がれた伝統的な祭りや暮らしなど、特色ある伝統文化が息づいています。本市に暮らす市民一人ひとりが地域の魅力を誇りに感じ、「柳川プライド」を育むことができるように郷土の歴史や文化を明らかにしていきます。

そのためにも、文化財等の収集及び適切な保存を実施するとともに、情報発信の機会充実に努め、郷土の歴史や伝統文化に対する市民の関心を高めるとともに、郷土愛の醸成とまちづくりへの活用を図ります。

〈成果指標と目標値〉

成 果 指 標	現 状 値 (令和 6 年度概算)	目 標 値 (令和 7 年度)
研修会や講座に参加して郷土に対する理解が深まった人の割合	92%	95%

<成果目標の取得方法：「受講者アンケート」>

《主な取組》

(1) 文化財等調査の推進

市民や関係機関等から広く文化財等の情報を収集し、市内・関連地域の文化財等を調査します。

○文化財等に関する情報の積極的な収集

○文化財等の調査体制の充実

(2) 文化財等の適切な保護と活用

本市の歴史を物語る古文書・史跡や、掘割が巡る水郷景観、武家屋敷や社寺が受け継がれた城下町、伝統的な祭りや暮らしなど、地域固有の文化財の保存と活用を図ります。

○文化財の保護

市内に所在する文化財の調査を推進し、文化財専門委員会等による評価を通して指定文化財の充実を図るとともに、課題を把握して文化財の適切な保護に努めます。

○文化財の活用

歴史文化拠点施設での文化財の積極的な公開とともに、市民への学習機会の提供を行うなど文化財の活用を進めます。

○名勝水郷柳河の保存及び活用

水郷景観を後世に継承するため、名勝水郷柳河の日常管理や行為制限等に対する基本的な考え方を取りまとめた名勝水郷柳河保存活用計画を活用し、掘割周辺の住民や市民に向けた名勝の制度等に関する普及啓発や来訪者に向けた周知活動、掘割沿いの樹木の保存に対する支援を行い、名勝水郷柳河の適切な保存と次世代への確実な継承に努めます。

○郷土の歴史文化財案内看板改修

市内には、多数の文化財案内看板が設置されています。これら看板は、経年劣化により破損したものや文字が読みにくいものなど、改修が必要なものがあり、市や教育委員会が設置したものについて、順次改修を行います。また、必要に応じて新規設置も併せて行います。

(3) 歴史文化拠点施設の充実

市内の歴史文化拠点施設の充実した管理運営に努めます。

○歴史文化拠点施設の充実

柳川古文書館、旧戸島家住宅、歴史民俗資料館（北原白秋記念館）、柳川城址の充実した管理運営を図ります。

○学芸員のネットワークづくり

市内の関連施設と連携し、歴史的史料の調査・保存及び活用を図ります。

○柳川古文書館目録等の整備および館報の刊行

柳川古文書館の収蔵する史料等を目録化・刊行して、市民に公開すると共に、Web上での公開も促進し、館報に調査・研究の成果を掲載して市民の理解促進につなげます。

(4) 歴史文化の伝承・学習機会の提供

伝統文化の継承と市民の郷土愛の醸成を図るため、講演会や体験学習など普及啓発事業を行います。

○普及啓発事業の実施

歴史文化講座、古文書講座、出前講座、フィールドワークなど、市民が郷土の歴史文化を学び体験できる機会の充実を図ります。

○文化財愛護精神の醸成

文化財防火デーの取り組みや災害時等の文化財パトロールを通じて、市民の文化財愛護精神を醸成します。

○展覧会の開催

柳川の歴史や文化に関する企画展を開催します。

(5) 伝統文化団体・偉人顕彰団体の育成

地域文化の継承と文化活動の支援のため、地域の伝統行事等の継承団体の設立・運営に対する支援を行います。

○地域伝統行事等継承団体の育成

市内各地の伝統行事等継承団体への助成、伝統行事の広報宣伝など活動支援を行います。

○郷土の偉人顕彰団体への助成

顕彰団体への助成、顕彰行事の広報宣伝など活動支援を行います。

(6) 市史編さんの推進

市内外の歴史的関連地域の調査を行い、市史の刊行を進めていきます。

○計画的な市史の刊行

柳川市史編さん基本計画大綱に基づき計画的に市史を刊行します。

○調査体制の充実

県南地域史料調査会に委託し、市内外の資史料の調査を進めます。

○広報活動の実施

歴史文化講演会・市史講座・市史抄片を通じて調査・研究の成果を市民に公開します。

(7) 埋蔵文化財の確認・調査

公共事業や民間開発に伴う埋蔵文化財の事前調査や開発者との協議、記録保存を目的とした緊急発掘調査を行い、埋蔵文化財の保護に努めます。

5 健全な身体をつくるスポーツ活動の推進

1 生涯スポーツの振興

〈目的〉

市民が生涯にわたり気軽にスポーツ・レクリエーション活動が楽しめるよう、活動機会の提供や支援を行います。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
社会教育等関係団体登録数	181 団体	200 団体

〈成果指標の取得方法：生涯学習課統計資料〉

《主な取組》

(1) 体育施設の整備・充実

市民のスポーツ活動の利便性・安全性の向上を図るとともに、利用者のニーズを反映し施設の整備・修繕を行うとともに情報提供の充実を図ります。

- スポーツ施設の改修・整備
- 学校体育施設開放事業の実施
- 市のホームページを活用した施設の情報提供の充実

(2) スポーツ大会の充実

市民が気軽に参加できるスポーツ大会や郷土出身者を顕彰するスポーツ大会の充実を図ります。令和7年度は市民体育館の改修工事を行うため、12大会を開催します。

- 地域や家庭におけるスポーツ活動の推進
- 高齢者のスポーツ活動の推進
- 子どものスポーツ活動の推進
- 市の広報、ホームページを活用した大会情報提供の充実
- スポーツに関する意識啓発の推進

(3) ニュースポーツの普及

年齢・体力に応じたニュースポーツを気軽に体験できる機会の提供と継続した活動ができる環境整備を図ります。

- ニュースポーツ教室・大会の実施
- 指導者の育成
- 学校、地域、各種団体との連携

(4) スポーツ情報の提供

スポーツ行事や指導者、団体等に関する情報提供を図ります。

- 市広報紙、ホームページを活用したスポーツ情報提供の充実
- チラシ配布によるスポーツ情報提供の充実

(5) スポーツ・レクリエーション団体のネットワーク体制の整備

市民が、いつでも身近なところで、スポーツ・レクリエーション活動が楽しめるよう、各種スポーツ団体、地域、学校関係機関とのネットワークづくりの推進を図ります。

- 指導者の育成
- スポーツ情報提供の充実
- スポーツに関する意識啓発の推進
- 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

2 競技スポーツの振興

〈目的〉

市民のスポーツ活動に対する興味や参加意欲を高めるために、競技人口の拡大を図り、また、全国大会等出場者への支援を行います。

〈成果指標と目標値〉

成果指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
体育協会加盟者数	1,950人	2,300人
市主催のスポーツ大会に参加した市民の割合	7%	10%
スポーツ教室・研修会の開催	年4回	年4回

〈成果指標の取得方法：生涯学習課統計資料〉

《主な取組》

(1) 柳川市体育協会の活動促進

各種スポーツ団体の体育協会への加盟促進及び体育協会の自主的な活動の支援。

- スポーツ教室・大会の充実
- 指導者の育成
- 広報活動の充実
- 県民体育大会への参加促進並びに参加者への支援、総合順位目標10位以内
- 各種スポーツ団体間の連携

(2) スポーツ関連団体の育成・支援

スポーツ活動団体の活動を推進し、体育協会への加盟促進を図ります。

- 活動拠点確保の支援
- 指導者の育成
- スポーツ推進委員の活動支援
- スポーツ大会・教室の充実及び参加の推進
- 情報収集及びホームページを活用した情報提供の充実

(3) 少年スポーツ団体の育成・支援

子どもの健全育成と体力向上並びに競技者の育成を図るため、少年スポーツ団体の育成・支援を図ります。

- 少年スポーツ団体への助成制度の支援
- 指導者の育成
- 情報収集及び市広報紙、ホームページを活用した情報提供の充実
- 活動拠点確保の支援
- 体育協会及び小中学校との連携の推進

(4) 全国大会出場者への支援

市民のスポーツに対する意識向上を図るため、全国大会出場者への支援の充実を図ります。

- 全国大会出場者への補助金制度の充実
- 競技人口の拡大並びに競技力向上の推進を目的とした、国際規模の大会に出場した者や全国規模の大会で3位以内の成績を収めた個人、団体に対するスポーツ栄誉賞の表彰
- 市広報紙やホームページを活用した周知活動の充実

6 人権尊重精神を育成する教育・啓発の推進

1 あらゆる場における人権教育・啓発の推進

〈目 的〉

平成29年度（10年に1回）に実施した市民意識調査で明らかになった課題の解決に向けた取り組みを進めるとともに、子どもから大人まで市民一人一人が、学校・家庭・地域・企業などのあらゆる場において、人権尊重の心を育むための人権教育・啓発の推進を図ります。

また、平成28年に施行された差別の解消に関する3つの法律（障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）、並びに令和2年4月に改正された条例（柳川市部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例）について、主旨・目的の周知・徹底を図ります。

《主な取組》

(1) 就学前における人権教育の推進

乳幼児の発達段階に応じ、幼稚園・保育所関係職員が乳幼児期の人権感覚をはじめ、道徳心の芽生えを伸ばし育てるための働きかけを行います。

- 幼稚園・保育所職員及び保護者等を対象とした研修会・学習会の開催支援
- 様々な人権・同和教育に関する講演会及び研修会への参加の呼びかけ

(2) 学校における人権教育の推進

学校の教育活動全体を通して、児童生徒が共生の心を身につけるとともに、自分らしさや能力を発揮し、人権問題を主体的に解決していく力を身に付けることができるような、指導方法の充実を図ります。

- 「人権・同和教育」資料集による小中連携した人権・部落問題の学習の実施
- 各校の人権・同和教育推進に関する指導・助言
- 校内研修の開催に対する支援（講師派遣等）
- PTAを対象とした研修会等の開催支援（講師派遣等）
- 若年の教諭に対する人権・同和教育に関する指導・助言

(3) 家庭・地域における人権教育・啓発の推進

市民が身軽に身近なところで、人権についての理解や認識を深めることができるよう、地域組織と連携し、研修会や学習会を開催します。

- 夏期講座や人権を考えるつどい等の開催と効果的な講師等の選定
- 地域団体が行う研修会・学習会の開催支援（講師派遣等）
- 社会教育集会所事業（ヒューマンライツ）やフェスタ等の開催
- 各種団体に対する学習会及び研修会への参加呼びかけ

(4) 企業における人権教育・啓発の推進

企業が差別のない公正な採用選考を行うとともに、自主的に職場内研修を開催できるよう働きかけを行います。また、えせ同和行為や外国人労働者への差別に対する対応等についても、資料等により職場訪問の際に啓発活動を行います。

- 人権・同和問題の正しい理解と認識を深めるための事業主研修会の開催
- 職場訪問による公平な採用選考の依頼及びえせ同和行為や外国人労働者への差別等に対する啓発活動の実施
- 職場内研修の開催支援（講師派遣等）

2 人権教育・啓発の効果的推進

〈目的〉

人権教育・啓発の効果的推進を図るため、これまで行ってきた事業の内容、効果、参加状況等を検証し、事業の整理や統合を行います。

部落差別をはじめ様々な人権問題に対応した学習会や研修会の開催により、人権意識の高揚や、地域などにおける人権・同和教育の推進を指導できる人材の育成を目指します。

《主な取組》

(1) 人材の育成

特定職業従事者である市職員、教職員、社会教育関係者を対象に研修会や学習会を開催し、地域に密着した人材の育成を図り、地域における指導者としての実践力の向上を目指します。

- 市職員全体の人権意識高揚のため、関係部署と連携した学習会及び研修会の開催
- 教職員の指導力の向上と教育課題の解消に向けた講座や研修会の開催
- 社会教育関係者に対する講演会等への参加要請による地域リーダーの人材育成
- 市人権・同和教育研究協議会との連携

(2) 学習内容の充実

部落差別をはじめ様々な人権問題に対応した研修会や各種イベント等を開催します。

- 交流型研修会や人権コンサート等を含んだ講演会の開催
- 市内及び近隣市町でのフィールドワークの実施
- 部落問題の実態に学ぶ研修会等の開催
- 校区コミュニティセンターを活用した地域住民啓発の充実
- 差別の解消に関する3つの法律の周知
- 既存事業の整理、統合

(3) 効果的な啓発手法・情報提供の推進

人権意識の高揚を図るための啓発イベントや情報提供、広報活動などの人権啓発を効果的に推進します。

- 人権に関連した期間に合わせたイベントの開催
- 市広報、ホームページ等を利用した情報発信
- 小中学生による人権作文の市報への掲載による全市民への人権意識の啓発

(4) 教材の開発・整備

人権教育・啓発を一層効果的に推進するため、様々な人権問題に関する教材等の整備を図ります。

- 学習ビデオ・DVDの整備
- 「人権・同和教育」資料集の充実